



あomor教育フェスタ2014 青森県総合学校教育センター APSEC

明日の授業のヒントを見つけに来ませんか？



＝予定している内容＝

-  **模擬授業・実践発表 ワークショップ** ※具体的に、わかりやすくお伝えします。
-  **ブース発表** ※発表をしながら、疑問点についてその都度質問に答えます。
-  **教材教具展示** ※すぐにでも授業で使える教材教具を紹介します。
-  **センター内体験ツアーズ** ※科学実験やモノづくり等の体験コーナー。小学生以上が対象です。
※当日は託児サービスもありますので、お子様連れでお気軽にお越し下さい。

※詳しくは後日アップ予定の Web で <http://www.edu-c.pref.aomori.jp>



当センターでは、今年度5つのプロジェクト研究を行っています。

- ①「子どもの主体的な学びを創り出す授業づくり」
- ②「キャリア教育の充実」
- ③「学び続ける教員を支える校内研修（研究）の活性化」
- ④「自己肯定感を育む人間関係」
- ⑤「学校・教員支援のためのシステム整備」

このうち今回は、③「学び続ける教員を支える校内研修（研究）の活性化プロジェクト」をご紹介します。



< 学び続ける教員を支える校内研修（研究）の活性化プロジェクト >

校内研修の充実は、教育課題の解決や授業の改善だけでなく、教員の資質向上を図る上でも大切なことです。本プロジェクトは、学び続ける教員を支えるOJTの場である校内研修の活性化を支援するプロジェクトです。教育現場が抱えている課題やニーズを把握に基づいた、様々な研究方法や運営手法の有効性について実践を通して明らかにしていくことを目指しています。

「リサーチ（R）ユニット」と「サポート&アテンダント（SA）ユニット」の二つのユニットを組織し、それぞれのユニットの成果をお互いに取り入れながら、異なる方向性から研究を進めています。研究の成果は研修講座に生かしたり、センターWebを通して県内の先生方に提供したりしていきたいと考えています。

11月・12月

追加申込可能な講座

講座番号	講座名	日程	申込期限
704	授業改善講座 D1コース [特別支援教育の要 自立活動]	11月13日(木) ～14日(金)	10月23日(木)
302	豊かな表現力をはぐくむ音楽科実技講座	12月1日(月) ～2日(火)	11月10日(月)
821	校内LAN講座 [県立学校Ⅱ]	12月2日(火) ～3日(水)	11月11日(火)

聴講可能な講座

申込は1か月前まで!

講座番号	講義題及び講師名	日程	担当課
302	「感じ、考え、主張する音楽鑑賞のプランニング」 講師：奈良教育大学 教授 宮下 俊也	12月2日(火) 9:00～15:00	高校教育課

※「聴講」とは、特定の講義のみを研修することができる方法です。

※県内の教職員であればどなたでも聴講することができます。(青森市教職員や県内の保育所職員も聴講可能です。)

いずれも、申込方法等、センターWebでご確認の上、お申し込みください。

<教育相談課>

おさない しょうじゅん

小山内 将 淳 研究員

・センター勤務2年目

・妻、娘(中学生)の3人家族

当センターの
職員を紹介します

今。こんなことやっています!!

★ 相談業務(相談電話・来所面談・適応指導教室) ★

『相談電話』では不登校の悩みを抱える保護者からの相談が多く、電話を取る時はいつも緊張しています。受話器の向こうの保護者や子どもの顔を思い浮かべながら丁寧に話を聴き、不安が少しでも和らぐよう心がけて対応をしています。

『面接相談』には『来所相談(保護者や子どもとの面接相談)』と『プランニングタイム(適応指導教室通所生との個人面接相談)』があります。面接相談では子どもたちと一緒に悩んだり考えたり、雑談も大切にしながら、心が晴れ晴れとして元気になっていけるように意識をして声をかけています。

小山内研究員の「ある一日」

8:00 出勤、予定確認
8:30 教育相談課の朝会
8:45 適応指導教室通所バス指導
10:00 適応指導教室指導員と打ち合わせ
10:20 通所生の学習支援
12:00 通所生・指導員みんなと昼食
12:50 通所生と面談
13:45 研究に関する文献調査
15:00 適応指導教室指導員と一日の反省
16:00 研修講座に係わる準備
17:00 退勤

先生方への“メッセージ”

私は現在、不登校対応の研究をしています。県内には不登校児童生徒の対応に苦慮されている先生方が多いと聞いております。そこで、私は不登校対応に悩む先生方の一助になればと思い、『不登校児童生徒対応プログラム』(マニュアルではありません)を作成中です。

完成の暁には、先生方に一読していただき、学校に行きたくても行けない児童生徒の対応の参考として活用していただければ幸いです。

